

断層oに関する追加調査計画及び進捗状況

○断層oに関するデータ拡充のための追加調査計画及び現在の進捗状況を以下の表に整理して示す。

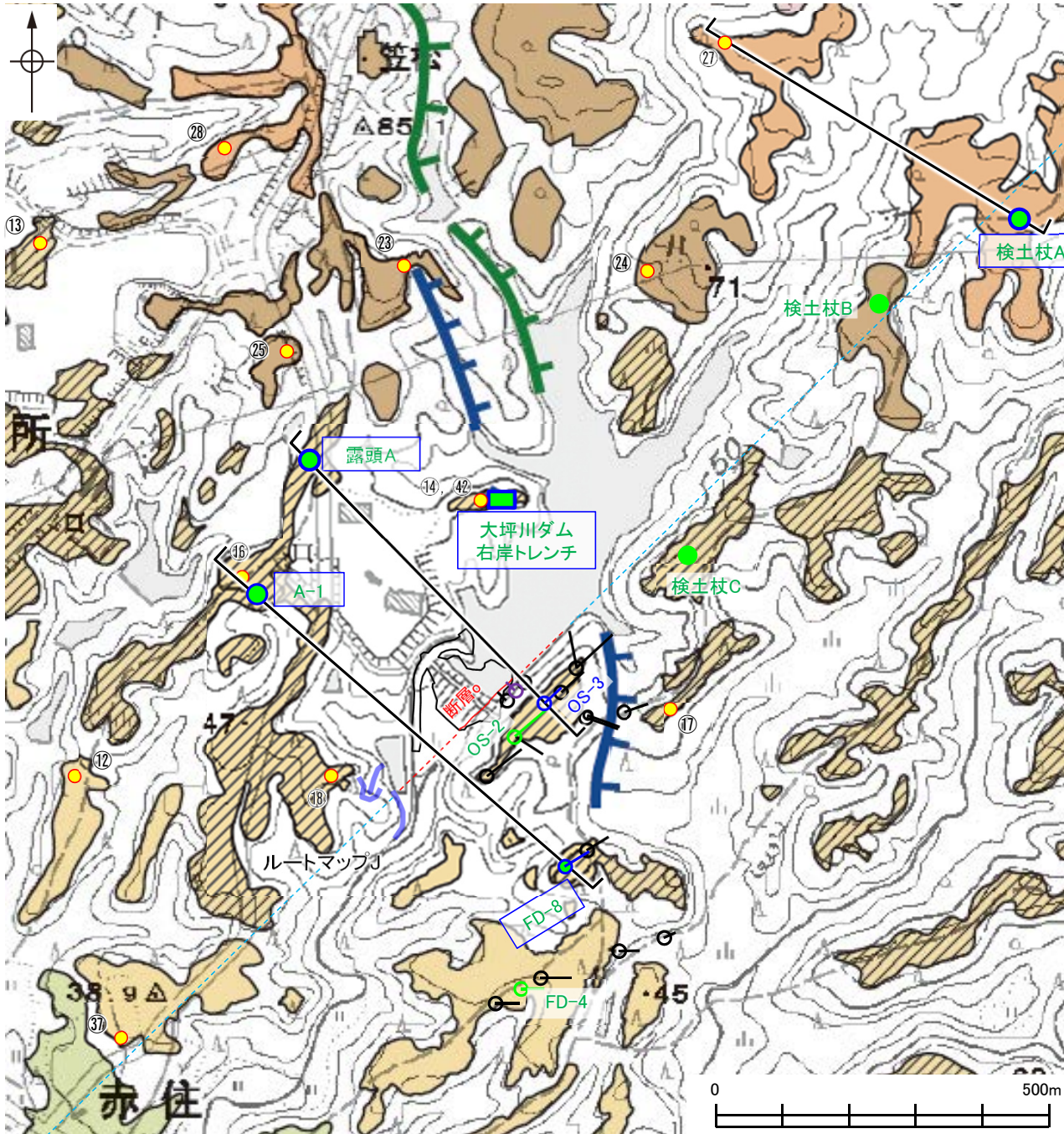
紫字:第1105回審査会合以降に追加

調査の目的		調査の内容	進捗状況	備考	
地形面の変位の有無に関するデータ拡充	データ拡充 i	【段丘面調査】 断層oを挟んで分布する高位段丘 I b面において火山灰や赤色土壌等の有無を確認することにより、高位段丘 I b面と判読した確度を高める。	<ul style="list-style-type: none"> 既存のボーリングコア観察 既存のトレンチ観察 露頭調査 簡易ボーリング調査 検土杖調査 火山灰分析 	断層oを挟んで分布する高位段丘 I b面において、約9.5万年前のK-Tz火山灰や赤色土壌を確認したことから、高位段丘 I b面と判読したことと整合的であることを確認した。(2022年11月調査完了)	
	データ拡充 ii	【岩盤上面調査】 地形面の標高に加え、岩盤上面の標高データを取得し、断層oを挟んで同じ時期に形成された波食台の高度差の有無を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 既存のボーリングコア観察 既存のトレンチ観察 露頭調査 簡易ボーリング調査 検土杖調査 	断層oを挟んで分布する高位段丘 I b面において、岩盤上面高度を確認した結果、高度差は認められない。(2022年11月調査完了)	
	データ拡充 vii	【地形調査】 地形面の高度を比較する断面線を設定するにあたり、段彩図及び接峰面図を作成し、断層o周辺の地形面の傾斜方向等について確認を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 段彩図作成 接峰面図作成 	段彩図及び接峰面図を作成中。	2023年1月完了予定
	データ拡充 viii	【旧汀線調査】 断層oの延長位置を境に、中位段丘 I 面、高位段丘 I a面及び I b面の旧汀線高度、段丘面内縁標高に有意な高度分布の差がないか検討する。必要に応じて旧汀線高度のデータ拡充を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 既存のボーリングコア観察 既存のトレンチ観察 簡易ボーリング調査 検土杖調査 	断層o周辺において、旧汀線高度分布の検討を行うために、既存の地質調査データを整理し、必要に応じて追加ボーリング等の実施を検討中。	2023年2月完了予定
鉱物脈法に関するデータ拡充	データ拡充 iii	追加ボーリングから作成した薄片を観察することにより、最新面と鉱物脈との関係を確認し、説明性の高いデータが得られた場合は、活動性評価の根拠として用いる。	<ul style="list-style-type: none"> 追加ボーリング 追加薄片作成 薄片観察 	追加で作成した薄片からは、最新面と鉱物脈との関係が明確なデータは得られていない。(継続的に実施)	
破碎部性状に関するデータ拡充	データ拡充 iv	実施済の追加ボーリングにおいてコア観察、薄片観察を実施し、断層oの破碎部性状(層状構造や明瞭な複合面構造の有無等)を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 追加ボーリングコア観察 薄片観察 	追加ボーリングから作成した薄片の観察の結果、断層oの破碎部性状は、活断層である福浦断層とは異なり、非活断層である敷地内断層と類似することを確認した。(2022年11月完了)	
上下盤の変質等に関するデータ拡充	データ拡充 v	断層oに沿って認められる直線的な崖地形を差別侵食地形と判断した根拠として、実施済みの追加ボーリングのコア試料を用いて、上下盤の岩盤の変質の違いや硬軟の差を示す定量的なデータを取得する。	<ul style="list-style-type: none"> XRD分析 針貫入試験 	断層oの上下盤の岩盤においてXRD分析を実施した結果、断層oの上下盤で含まれる変質鉱物に違いが確認された。針貫入試験を実施した結果、断層oの下盤の岩盤は上盤の岩盤よりも相対的に軟質であることが定量的に確認された。(2022年12月完了)	
南端に関するデータ拡充	データ拡充 vi	断層oの南端と評価しているルートマップJにおいて、岩相分布や破碎部の有無等に関する地質学的記載を充実させる。	<ul style="list-style-type: none"> 露頭観察 	ルートマップJの再観察を実施し、確認された破碎部のスケッチ及び写真等のデータ拡充を実施した。(2022年11月完了)	

【追加調査進捗状況】

		2022年			2023年			備 考
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	
地形面の変位の有無に関するデータ拡充	データ拡充 i		段丘面調査					
	データ拡充 ii		岩盤上面調査					
	データ拡充 vii				地形調査			
	データ拡充 viii				旧汀線調査			
鉱物脈法に関するデータ拡充	データ拡充 iii	第2回現地調査	薄片観察	第1105回審査会合				
破碎部性状に関するデータ拡充	データ拡充 iv		追加ボーリングコア観察、薄片観察					
上下盤の変質等に関するデータ拡充	データ拡充 v		XRD分析、針貫入試験					
南端に関するデータ拡充	データ拡充 vi		露頭観察					
断層oに関する資料とりまとめ (敷地近傍断層の資料全体のとりまとめ)			資料作成			資料提出予定		

【追加調査位置図(地形面の変位の有無に関するデータ拡充 i , ii)】



○地形面の変位の有無に関するデータ拡充

【段丘面調査】(データ拡充 i)

- ・既存のボーリングコア観察・・・OS-2孔, FD-4, 8孔(3本)
- ・既存のトレンチ観察・・・大坪川ダム右岸トレンチ(1箇所)
- ・露頭調査・・・露頭A(1箇所)
- ・簡易ボーリング調査・・・A-1孔(1本)
- ・検土杖調査・・・検土杖A～C(3箇所)

【岩盤上面調査】(データ拡充 ii)

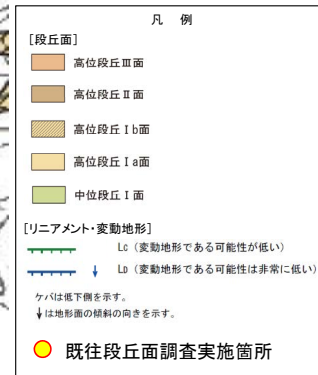
- ・既存のボーリングコア観察・・・OS-3孔, FD-8孔(2本)
- ・既存のトレンチ観察・・・大坪川ダム右岸トレンチ(1箇所)
- ・露頭調査・・・露頭A(1箇所)
- ・簡易ボーリング調査・・・A-1孔(1本)
- ・検土杖調査・・・検土杖A(1箇所)

● : データ拡充 i を実施した地点

● : データ拡充 ii を実施した地点

■ : データ拡充 i 及び ii を実施した地点

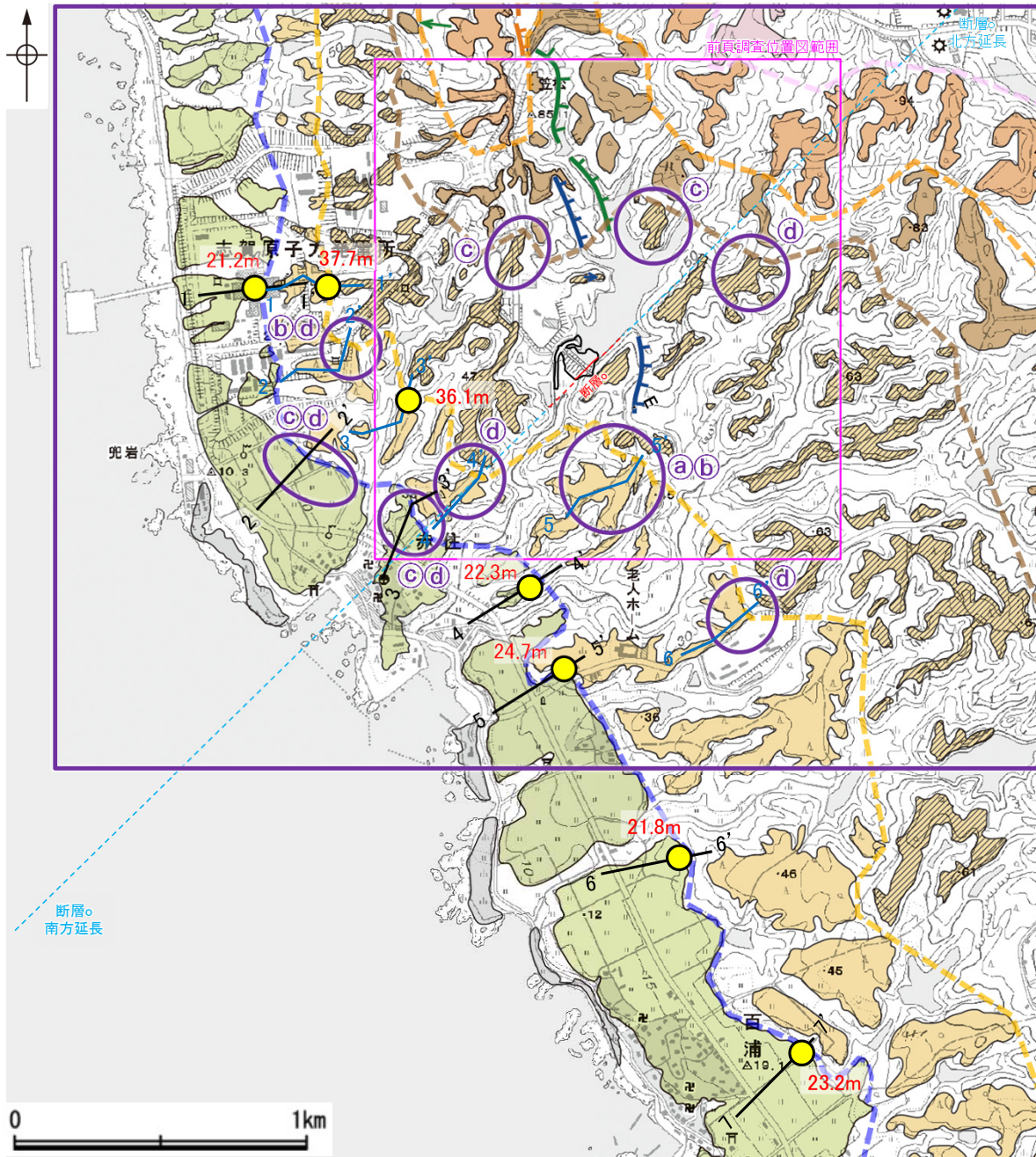
— : 岩盤上面標高比較断面位置



断層
南方延長

調査位置図

【追加調査位置図(地形面の変位の有無に関するデータ拡充 vii, viii)】



段彩図・接峰面図を作成する範囲(データ拡充 vii)

旧汀線高度に関する地質データの拡充を実施する箇所(データ拡充 viii)
(これまで旧汀線調査データが得られていない箇所を実施)

・各地点で実施する調査は以下の通り

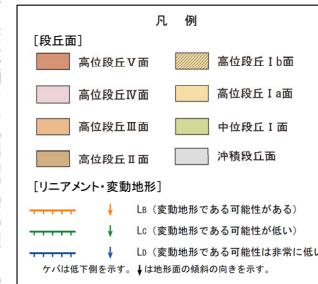
- ①: 既存のボーリングコア観察
- ②: 既存のトレンチ観察
- ③: 露頭調査
- ④: 簡易ボーリング調査, 検土杖調査

旧汀線高度を確認した箇所(既往データ)
(赤字: 旧汀線高度)

1 — 1' 地形断面位置(中位段丘 I 面)

1 — 1' 地形断面位置(高位段丘 I a面)

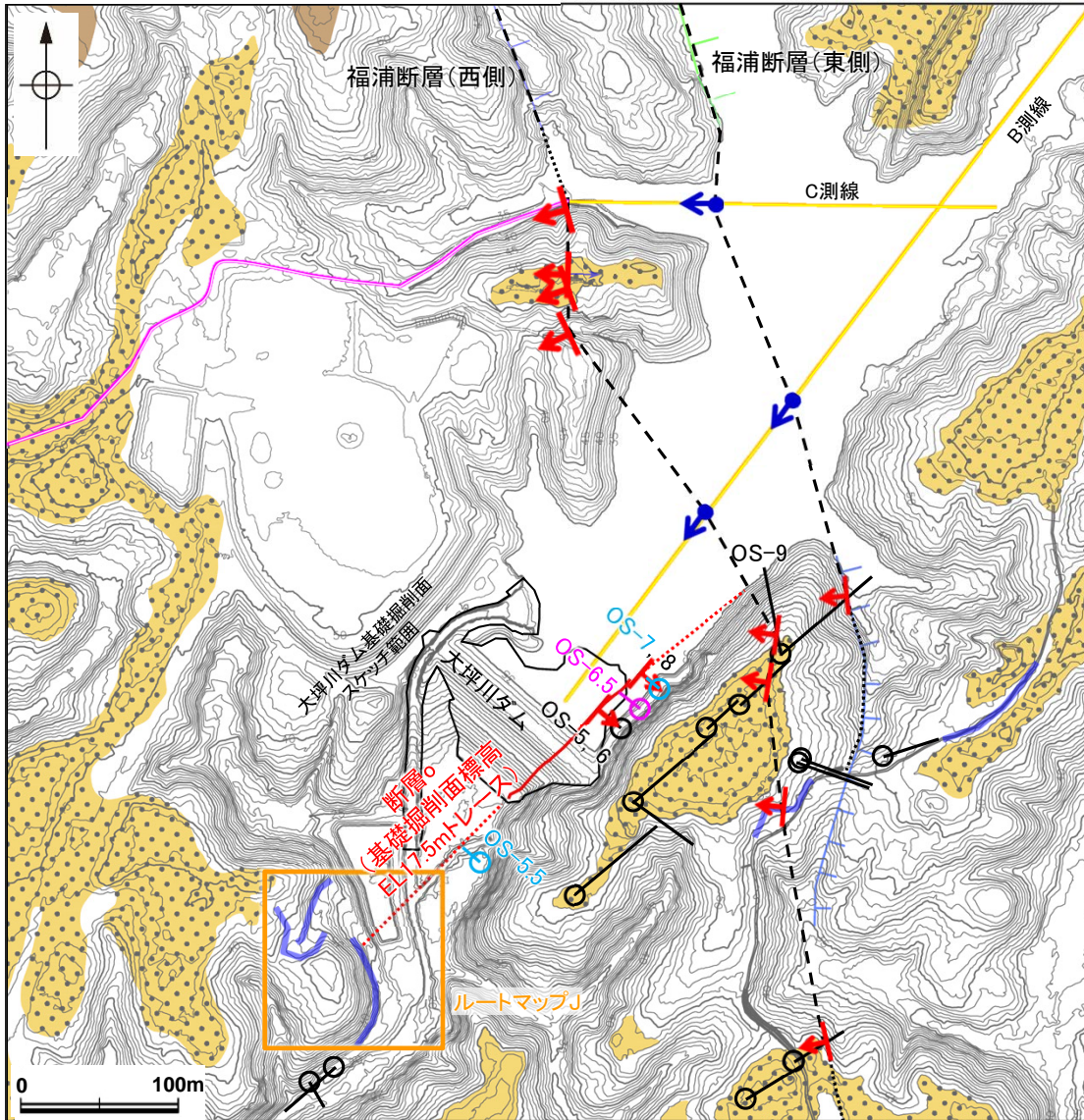
地形断面図は第1105回審査会合(2022.12.23) 資料1 P.32, 33参照



- 中位段丘 I 面の旧汀線
- 高位段丘 I a 面の旧汀線
- 高位段丘 I b 面の旧汀線
- 高位段丘 II 面の旧汀線
- 高位段丘 III 面の旧汀線

位置図

【追加調査位置図(データ拡充 iii, iv, v, vi)】



調査位置図

- 鉱物脈法に関するデータ拡充(データ拡充 iii)
 - ・薄片観察・・・OS-6.5孔(2枚), OS-7孔(薄片作成中), OS-5.5孔(ボーリング掘進中)
- 破碎部性状に関するデータ拡充(データ拡充 iv)
 - ・追加ボーリングコア観察・・・OS-6.5孔(1本)
 - ・薄片観察・・・OS-6.5孔(2枚)
- 上下盤の変質等に関するデータ拡充(データ拡充 v)
 - ・XRD分析・・・OS-6.5孔(上盤側2箇所, 下盤側2箇所)
 - ・針貫入試験・・・OS-6.5孔(上盤側8箇所, 下盤側8箇所)
- 南端に関するデータ拡充(データ拡充 vi)
 - ・露頭観察・・・ルートマップJ(露頭全線)

- 📍 : データ拡充 iii 実施地点
- 📍 : データ拡充 iii ~ v を実施した地点
- 📍 : データ拡充 vi を実施した地点

凡例

<p>[段丘面]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ : 高位段丘 II 面 ■ : 高位段丘 I b 面 ■ : 高位段丘 I a 面 <p>[リニアメント・変動地形]</p> <ul style="list-style-type: none"> — : Lc (変動地形である可能性が低い) — : Ld (変動地形である可能性は非常に低い) <p>ケハは基下側を示す。 ↓は地形面の傾斜の向きを示す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> — : 反射法地震探査(陸域) — : 反射法地震探査(湖内) — : 表土はぎ調査 — : 斜めボーリング 📍 : 断層確認位置 (傾斜を考慮して地表付近に上げた位置) 📍 : 反射法地震探査での断層確認位置 (傾斜を考慮して地表付近に上げた位置) --- : 断層位置 推定区間
---	---